

高画質・高音質、ネット動画もゲームも快適

# コスパで選ぶならハイセンス

グローバルに商品を展開するテレビメーカー  
ハイセンスの快進撃が止まらない！  
高画質・高音質技術とスマート機能を掛け合わせた  
4K液晶テレビ「A6Hシリーズ」が、コスパ大賞を獲得しました。



格安プライスながら  
全方位に抜きなし！

VGP審査員 折原一也

高画質・高音質、スマート機能がぜんぶ揃った4Kテレビがほしい、なかでもコスパに優れたテレビを選びたい！そんな人にお勧めしたいのが、ハイセンス「A6Hシリーズ」です。画面サイズも幅広くラインアップしていて、65V型クラスの大画面でも実売で10万円前後という格安プライスとなっています。

海外メーカーかつ格安だと、画質・音質・機能を不安に思う方もいらっしゃるかもしれませんが。しかしハイセンスは世界的なテレビメーカー。抜きありません。画質エンジンには日本のTVS REGZA社と共同開発した「NEOエンジンLite」を搭載していて、日本人の熟練エンジニアがチューニングを手掛けた「日本仕様」で設計されています。バックライトは直下型。広視野角のADSパネル搭載（※50V型モデルを除く）なので、斜めから見ても高画質です。音質面でも、実績のある音響技術「Eilex PRISM」を搭載していて、実力十分です。ネットワーク機能は、Wi-Fiを内蔵しているだけでなく、出荷時からNetflix、YouTube、Amazonプライム・ビデオを始めとする主要のネット動画サービスに対応しています。リモコンには6サービスのダイレクトボタンを搭載していて、使い勝手は抜群です。さらに低遅延のゲームモードに対応しているので、据え置きゲーム機用のモニターとしても活用できます。そのほか外付けHDDによる録画機能にも対応しています。

実際に「65A6H」で地デジ放送を視聴してみると、人肌の色彩がとてもナチュラルでノイズも目立たないという、格安プライスを超えた高画質に驚かされました。部屋の照明を落としてNetflixで『スパイダーマン:ホームカミング』を視聴しても、映画のしっとりとした質感まで再現してくれました。音質面でも、地デジの音声、たとえば男性アナウンサーの声などは画面の位置から肉厚に聞こえてくるし、Netflixの宇多田ヒカルのライブ映像でもシャープに伸びる歌声、適度に厚みを整った低音とバランスがしっかり整っていました。

ハイセンスが「A6Hシリーズ」で届けるのは、格安プライスながら水準以上の画質・音質・機能という価値。コスパ大賞にふさわしい、いま注目すべきテレビです。



4K液晶テレビ

HISENSE

A6H シリーズ

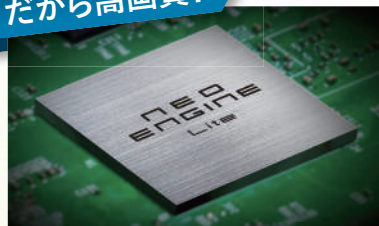


コスパ大賞

¥OPEN 43V型 / 50V型 / 55V型 / 65V型 / 75V型

SPEC ●チューナー：BS 4K・110度CSデジタル4K×1、地上デジタル×2、BS・110度CSデジタル×2 ●パネル方式：液晶 ●画素数：3840×2160 ●HDMI：3系統

だから高画質！



NEOエンジンLite

TVS REGZAと共同開発した高画質回路「NEOエンジンLite」を搭載。コンテンツの種類やシーンにあわせて最適な映像処理してくれるので、幅広い映像作品を美しい映像で楽しめます。

だから便利！

ネット動画対応

VODプラットフォーム「VIDAA」によって、Netflix、YouTube、Amazonプライム・ビデオなど、お馴染みのネット動画配信サービスも、テレビだけで気軽に楽しむことができます。



だから安心！

3年保証

THREE-YEAR LIMITED WARRANTY

3年保証つき

ハイセンス製品は、すべてに長期保証がついていて安心して選べるのも魅力のひとつです。